

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成30年7月12日 (2018.7.12)

【公表番号】特表2017-525253(P2017-525253A)  
 【公表日】平成29年8月31日 (2017.8.31)  
 【年通号数】公開・登録公報2017-033  
 【出願番号】特願2016-575160(P2016-575160)  
 【国際特許分類】

**H 0 4 N 19/70 (2014.01)**

**H 0 4 N 19/30 (2014.01)**

【 F I 】

H 0 4 N 19/70

H 0 4 N 19/30

【手続補正書】  
 【提出日】平成30年6月4日 (2018.6.4)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

マルチレイヤビデオデータを符号化する方法であって、  
 補足強化情報 ( S E I ) メッセージが前記マルチレイヤビデオデータの 2 つ以上のレイヤに適用されると決定することと、

前記マルチレイヤビデオデータの前記 2 つ以上のレイヤと関連付けられる複数のインスタンスを有するシンタックス要素を前記 S E I メッセージが参照すると決定することと、  
 ここにおいて、前記シンタックス要素の前記複数のインスタンスが、前記マルチレイヤビデオデータの第 1 のレイヤと関連付けられる第 1 の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 1 のインスタンスと、前記マルチレイヤビデオデータの第 2 のレイヤと関連付けられる第 2 の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 2 のインスタンスとを備える、

前記複数のインスタンスのすべてを同じ値に設定することと  
 を備える、方法。

【請求項 2】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスがフレームまたはフィールドを含むかどうかを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスに対するソーススキャンタイプを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記シンタックス要素が `field__seq__flag` シンタックス要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記シンタックス要素が `general__progressive__source__flag` シンタックス要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記シンタックス要素が `general__interlaced__source__flag` シンタックス要素を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記方法が、ワイヤレス通信デバイス上で実行可能であり、前記ワイヤレス通信デバイスが、

前記マルチレイヤビデオデータを記憶するように構成されるメモリと、

前記メモリに記憶されている前記マルチレイヤビデオデータを処理するための命令を実行するように構成される 1 つまたは複数のプロセッサと、

前記マルチレイヤビデオデータを送信するように構成される送信機と

を備える、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ワイヤレス通信デバイスがモバイルネットワークデバイスであり、前記送信機が、セルラー通信規格に従って変調されたデータとして前記マルチレイヤビデオデータを送信するように構成される、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

マルチレイヤビデオデータを符号化するための装置であって、

補足強化情報 (SEI) メッセージが前記マルチレイヤビデオデータの 2 つ以上のレイヤに適用されると決定するための手段と、

前記マルチレイヤビデオデータの前記 2 つ以上のレイヤと関連付けられる複数のインスタンスを有するシンタックス要素を前記 SEI メッセージが参照すると決定するための手段と、ここにおいて、前記シンタックス要素の前記複数のインスタンスが、前記マルチレイヤビデオデータの第 1 のレイヤと関連付けられる第 1 の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 1 のインスタンスと、前記マルチレイヤビデオデータの第 2 のレイヤと関連付けられる第 2 の有効シーケンスパラメータセットシンタックス構造中の前記シンタックス要素の第 2 のインスタンスとを備える、

前記複数のインスタンスのすべてを同じ値に設定するための手段とを備える、装置。

【請求項 10】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスがフレームまたはフィールドを含むかどうかを示す、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 11】

前記シンタックス要素の値が、前記マルチレイヤビデオデータのコーディングされたビデオシーケンスに対するソーススキントップを示す、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 12】

前記シンタックス要素が `field__seq__flag` シンタックス要素を備える、請求項 9 に記載の装置。

【請求項 13】

1 つまたは複数のプロセッサによって実行されると、前記 1 つまたは複数のプロセッサに、請求項 1 - 8 のうちのいずれかに従った方法を実行させる命令を記憶した、コンピュータ可読記憶媒体。